

地域と共に子供の命を守る

学校長 濱岡 明男

若葉の緑が眩しく、木々の生命力を感じる季節となりました。1年生も少しずつ学校に慣れ、上級生と一緒に校庭で遊ぶ姿も見られるようになりました。朝の準備や掃除の手伝いなど、1年生のお世話をする6年生の姿も板に付き、頼もしい限りです。

さて、近年小学生の交通事故が年々増加傾向にあります。警視庁のデータでは、令和4年度の小学生の交通人身事故発生件数が956件となっています。交通事故の原因は、運転手のハンドル・ブレーキの操作不適が一番ですが、子供たちの飛び出しや横断歩道外歩行なども原因として挙げられています。また、5月、6月の発生件数が、年間の中でも1位、2位となっています。

本校では、26日（水）に1、2年生の交通安全教室を行いました。例年は、若草小学校前の横断歩道を利用して、横断歩道の渡り方や待ち方などを青梅警察署の協力を得て指導していますが、今年は雨天のため体育館での指導となりました。本校の安全指導では、「右・左・右」と言いながら信号が青になってもすぐに渡らず周囲を確認し、車が止まった後、運転手と目を合わせ、「これから渡ります」とアイコンタクトを取るよう指導しています。

また、地域の交通安全ボランティアの方々も毎朝交差点に立ち、子供たちと元気に挨拶を交わしたり、励ましの声を掛けてくれたりと子供たちの登校の様子を見守ってくださっています。学校と家庭、地域と協力して、これからも大切な子供たちの命を守っていきましょう。

今日からゴールデンウィークに入ります。是非ご家庭でも、この機会に子供たちと横断歩道の渡り方や自転車の乗り方、交通ルールなど今一度ご確認ください。



1・2年生 交通安全教室の様子



交通安全ボランティアによる登校の見守り活動